

Mathematics and Physics Unit “Multiscale Analysis,
Modelling and Simulation”, Top Global University Project,

早稲田大学

海外渡航に関する報告書

名前：富岡健太

日付：2024年3月

1. 滞在場所

ピサ大学, イタリア.

2. 滞在期間

2023年9月28日から2024年3月12日(167日間).

日本出発：2023年9月27日.

日本到着：2024年3月13日.

3. 目的

Vladimir Simeonov Gueorguiev 教授のもとに訪れ, 非線型微分方程式(特に非線型分散型方程式)について学び, 研究する.

4. 主なホスト教授

Vladimir Simeonov Gueorguiev 教授 (ピサ大学).

5. 研究活動

Kenta Tomioka, The vanishing dispersion limit of the Schrödinger-improved Boussinesq system and its first approximation, A three-day Dispersive Meeting in Pisa, 08-10 February 2024 (Italian time), Pisa University (Italy), 10 February 2024 (Italian time).

(Web site) https://pagine.dm.unipi.it/forcella/dispersive_days_02_2024.html

“主な研究対象は非線型分散型方程式(系)の解析です. 例えば, 非線型シュレディンガー方程式やザハロフ系, クライン・ゴルドン・シュレディンガー系が興味の対象です. 特に, 解の挙動(散乱や安定性, 解の爆発の問題)について研究を行っております.”

([1]).

いくつかの研究結果を部分的に得られました.

6. コメント

小澤徹教授と Vladimir Simeonov Gueorguiev 教授に感謝を伝えたいです. Cotutelle Program によってピサ大学で研究活動を行えたことは小澤徹教授と Vladimir Simeonov Gueorguiev 教授のおかげです. ありがとうございます. さらに, 石崎由香利さんや早稲田大学の関係者, 日本学術振興会にはたくさんの援助を行って頂いたため感謝を伝えたいです. 特に, 1 回目の渡航([1])は主に早稲田大学の支援を頂き, 2 回目の渡航(今回の渡航)は主に日本学術振興会(DC2)の支援を頂きました. 最後に, Cotutelle Program に関わってくれた人や出会った人のすべての方々に感謝を伝えたいです.

7. 補足

主に次のサイトを参考にしました.

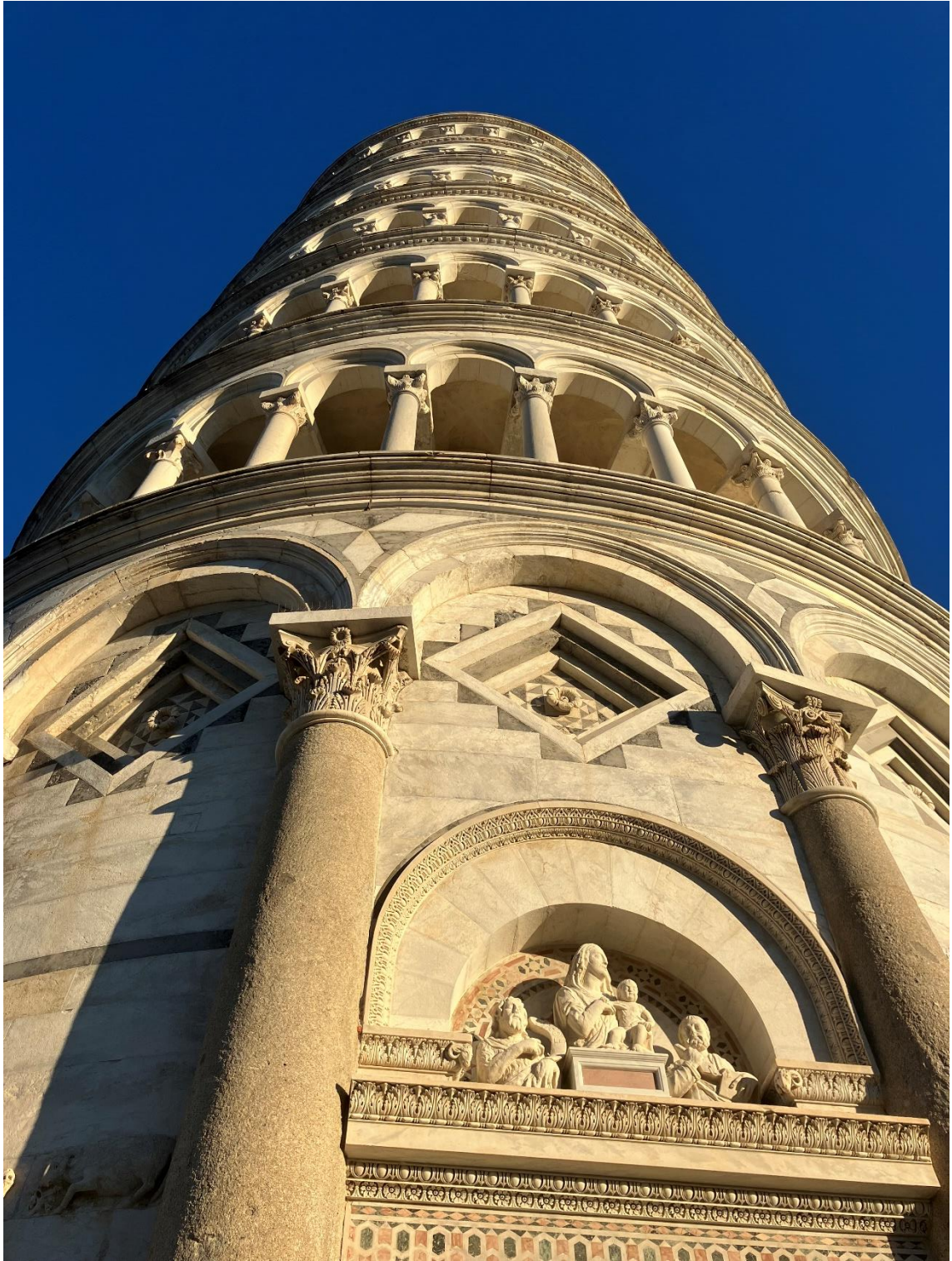
(Japanese) <https://www.waseda.jp/fsci/mathphys/activity/student>

(English) <https://www.waseda.jp/fsci/mathphys/en/activity/student>

特に, [1] Report on Study Abroad を参考にしました.

8. 写真

いくつかの写真を示します. 写真を撮ってくれた方に感謝を伝えたいです. 写真の情報は主に私の記憶に基づいております.



ピサの斜塔



Vladimir Simeonov Gueorguiev 教授と私



ピサの風景 1



ピサの風景 2



ピサの風景 3



ピザ1



ピザ2



パスタ